「どこかで家を買ってしまいたいんです」

最初にそう切り出したアーキ・プロジェクトとの相談で、「そんな考え方で家を建てたら失敗しますよ」と言われて、ハタと立ち止まったというKさん。

「自分達がどういう風な生活をしたいか？」を考えると、それに合ったような家の造りを考え始めるようになりました」というKさんに、これまでの家づくりの経緯をお聞かせ頂きました。

まず最初にアーキ・プロジェクトを知ったきっかけを教えてください。

去年の夏ごろに、立地的にいい土地を見つけて、「もう、先に土地だけでも買っておこうか」というか、「建てる場所は、いつでもどこでもええわ」というぐらいの勢いで、家を建てようとしていたことがあったんですね。

そういう話を友人にしたら、「どこで建てるか決まってるのか？」っていう事を聞かれて。

「全然決まってないから、安いところで適当にしようかな。こんな勢いでせな出来んしな」って言ったら、仲の良い友達だから心配してくれたんですね。
「ちゃんと決めた方がええと思う」という話になったんです。

でも、「どういうところがいいか分からない」と話したら、「それやったらこういうところもあるよ」と言ってアーキ・プロジェクトさんを紹介してくれました。

その友人夫婦は、前に家を建てることを検討していた時期があって、その時にアーキ・プロジェクトさんに相談に行ったり、勉強会に行ったりしてたみたいなんですけど、「私たちも相談に行った事があるんやけど」という話を聞いて、「じゃあ1回行ってみようかな」と。
それが最初のきっかけですね。

なるほど。その時にはアーキさんのことは何と紹介されたのですか？

ハウスメーカーがどうこうという話ではなかったです。
工務店さんを決めるだけじゃなくて、その人に合った家づくりというか、「全体的にどうしたらいいか？」という相談に乗ってくれるところというような感じだったと思います。

私たちも家を建てる場所というのは、どこに頼めばいいのかわからない状態でしたから、「ちょっと話を聞かせていただこうかな」と。

それでホームページを見たんです。
そうすると、工務店さんをご紹介頂けると書いてあったんですけど、具体的にどんな事をアドバイス頂けるのかがホームページを見ただけでは分からなくて、とりあえず電話しました。

仲の良い友達からの紹介だったから、相談することに不安は感じなかったですから。

なるほど。その電話ではどのようなお話をされたのですか？

「友人に聞いたんですけど・・・」と言って電話したら、若松社長が出られて。

そこで、「もう、勢いで行ってしまおうと思っているというか、好きなところも無いし、どこで建てたらいいのかも分からないんです」みたいな入り方で、「私たちに合うようなアドバイスがあれば、教えていただきたいんですけど・・・」と。

そしたら、「こちらの方に来てくださったらゆっくりお話が出来ます」という事だったので、電話ではそんなに深い話はしませんでした。

社長は優しいような声でしだし、すごく「相談をしたいな」と思っていたので、もう何日か後には事務所にお邪魔しましたね。

なるほど。アーキさんの事務所に行かれた時にはどんな感じでしたか？

まず、家を建てる事も当然初めてですし、アーキさんのようなお仕事も、他に見聞きする事も無かったので、「どんな事務所かな？」と思ったんですけど、「普通の事務所だなあ」と思いましたね。

それでその時は、いいなと思う土地があるという話をして。

今のマンションは賃貸なんですけど、収納が少ないので、「子供が大きくなってきてモノも増えるわ、元々狭いわで、どこかで家を買ってしまいたいんです」というお話をしました。

それで、「工務店とかハウスメーカーとかとの付き合いもないんですけど、どこで建てたらいいと思います？」と聞いてみました。

そうしたら、「そんな考え方で家を建てたら失敗しますよ」という事を言われまして。

例えば「その家でどういう生活をしたいのか？」を考えずに家を建てると適当なものが建って、それに合わせて住むようになる。

「どういう風な生活をしたいか？」を考えると、それに合ったような家の造りにもなるし、そういう家だったら新しい家でも幸せな生活が出来るようになるというようにお話でした。

なるほど。何か具体的なアドバイスもあったのですか？

そうですね。「展示場とかちゃんと見た事あるんですか？」と聞かれて、「まあ、1~2回は」と言ったら、「1~2回ではなくて、もっと色々と考えなさい」と。

「何のために建てるか？」とか、「どういう風に建てて、どういう風に生活をしたいか？」が定まっていなくて失敗するから良く考えたほうがいいと言われました。

資金計画についてもきちんと考えたほうがいいというアドバイスも頂きました。

「おそらく今は勢いでいってると思うけど、ちゃんと考えた方がいいですよ」と。

確かにそれを言われて初めてハタと立ち止まって、「そうやな。何も考えてないから、もう1回あの土地も含めてちゃんと考えよう」と考え始めた。

それで、その時に教えていただいた、ファイナンシャルプランナーの方のところに行って、返済の状況を聞かせていただいたり、色々と本を読んだり、展示場にも行ったりし始めましたね。

「資金計画も含めて考えてみたらどうやろう」という風に言われた時には、よく考えてないという事に気づいてはなかったので、「言われてみればそうだな」と。

だから、今でも思うんですけど、「あそこで最初に行ってそう言われなかったら、適当に走ってしまってたな」と思うので、これはすごく感謝してる部分ですね。

なるほど。それ以降は考え方も変わったということですか？

そうですね。その前は確かに展示場とか行ったり、ハウスメーカーのチラシを見て、間取りもそういうものの中から、「あぁ、これぐらいがええかな」ぐらいの考えしか無かった。でもその後、「自分たちがどういう暮らしをしたいか？」という目で見ると、チラシの間取りを見ても「ここがこうじゃない方がええな」という風に思えてきたんですね。

要は、与えられた間取りだと、賃貸のアパートに入っていくのと変わらない。

お金にしても、どれぐらい借りれるかじゃなくて、どれぐらいの返済だったら、ローンに振り回される事なく幸せに生活出来るかを考え始めたし。

アーキさんからは「具体的にどんな暮らしをしたいから、こういう家を建てたいということをよく考えてはっきりしてきたら相談しましょう」と言われたので、しばらく1~2ヶ月ぐらい、休みごとに色々考えたり、アーキさんの勉強会に参加させていただいたりしていました。

なるほど。例えばどのような勉強会に参加されたのですか？

ある工務店さんの「自然素材を使った家」というテーマの講演会にも参加しました。そうしたらその講演会の中で「実際に建てている家の見学会をする」という話があった。

その見学会に参加したんですけど、それまでは家を見に行くと言ったら、ハウスメーカーのモデルルームだったんで、無垢の木や漆喰の壁を使った自然素材の家というのを見た事が無かった。

どこかのお施主さんの、完成した、実際の建物を見せて頂いて。もう、衝撃を受けましたね。

まあ、その時点で「自然素材はいいな」と思ったんですけど、何も調べずに「これはきっと高いんだろうな」と思ったので、まだ相変わらず、この段階でも、ハウスメーカー的な安いところでないとは無理だな」と思ってましたけど(笑)

なるほど。それからアーキさんに相談されたりしたのですか？

その見学会にアーキのスタッフの方が来られていて、「お久しぶりです」と。
その時はすでに最初の相談から1~2ヶ月経っていたので、「どんな感じですか？」と聞かれて、色々考えているという話をしたら、「そろそろ具体的に相談されたらどうですか？」という事を言っていたので、また、相談にいったんですね。

そこで、お金のことはこう考えてるとか、展示場とか見ても、部分的にいいなってのはあっても、全体的な与えられた間取りを見ても、合わないなっていう部分が出てきたという話をしたら、「そういう段階だったら、具体的に工務店さんをご紹介する方向に行きましょうか？」と言って頂きました。

ただ、家の事は色々勉強していけばいく程、分からなくなっていった部分もありましたし、どこまで勉強したら十分かが分からなかったので「このままいっても大丈夫ですか？」と聞いたんですね。

そうしたら、「今くらい十分考えていたら、迷ったときにも自分たちにとって、これが必要か？とか、自分たちに合ってるかどうか？という視点で考えていけば、大丈夫だと思いますよ」と。

それで、お願いすることにしました。

すぐに業者さんを紹介してもらったのですか？

その時に、「どういう風に考えるようになったんですか？」という話の中で、「完成見学会行った時に自然素材の家を見て、いいなと思ってんですけど、高いでしょうから無理かなと思ってんですけど」という話をしたら、「必ずしもそうでない」と。

「建て方とか設備をどうするかによっては、全然可能な範囲ですよ」という事を言っていただいて、そういうことならということで、自然素材の家を建てる工務店さんを3社紹介して頂きました。

これは社長のアドバイスなんですけど、私たちは共働きで時間が全然取れないので、建築家さんを入れても話が十分に出来ない。

だから、「自分たちに合う工務店さんに設計もお願いする形の方がいいと思う」と言われたので、建築家さんは入れませんでしたね。

それで、3つの工務店さんをご紹介いただいたんですけど、一番構えずに話が出来るような工務店さんをお願いすることにしました。

というのも、社長から「話がしやすいとか、人柄を中心に考えた方がいいよ」というアドバイスをもらっていた。

「最初の段階で、深くどんな家を建てるのかという話をしてもしょうがない」という事でした。

結局、お願いすることになった工務店さんは、見学会で見に行った自然素材の家を建てた工務店さんだったんですけどね。

なるほど。それから具体的なプランが決まっていたのですか？

はい。それで、「どういう家にしたい」という話を、工務店さんと具体的にしていって、間取りも考えて頂きました。

うちは共働きということもあって、家ではとにかくくつろぎたかった。掃除が楽な感じで、「落ち着く家にしたいな」という事を考えていたので、自然素材の家がいいなというか、「木の匂いとか癒されるな」という事を考えていました。

子供もいるので、子供の健康にとってもいい家がいいなとも思って、無垢の木をいっぱい使ったりとか、漆喰の壁を使ったりしたプランを作って頂いて、今、工事の真っ最中ですね。

なるほど。最初の土地を見つけれられた状態から、今、工事にこぎつけられたわけですが、その中ではアーキさんというのはどんな存在でしたか？

実際、買う土地も変わりました。色々を見た中で、「やっぱりそこがいい」と話になるっていうのはいいけれども、最初にそこしか見てないで買うというのは、「もっとよく考えなさい」と最初の段階で社長に言われたんですね。

それで考え直したら、道の広さとか土地の区画数とかで、より希望に合うところが見つかった。だから、全てにおいて最初の相談があったからこそ、今の方向性がある。

工務店さんを紹介いただいたのも大きいですし、完成見学会を見たというのも大きい。あの見学会で、「こういう家を建てたいな」という事を強く思いましたから。

あとは、細々と出てくる疑問にも相談させて頂いて、精神的な不安を解消して頂いてました。例えば、「こんな感じで間取りが決まっていってるんですけど、どうですかねえ？」という相談だったり、「ここに窓がある方がいいのか？無い方がいいのか？」。それから、「屋根の形をどうするか？」とか、気になる事を相談に乗っていただいたりして(笑)

疑問を持った事を潰していただけるというか、答えをいただいて、考え方の整理をする、アドバイスをいただけましたね。

だから、不安が大きくなるうちに、スッキリさせていくことが出来たんじゃないかなと思っています。

なるほど。本日は貴重なお話をありがとうございました。